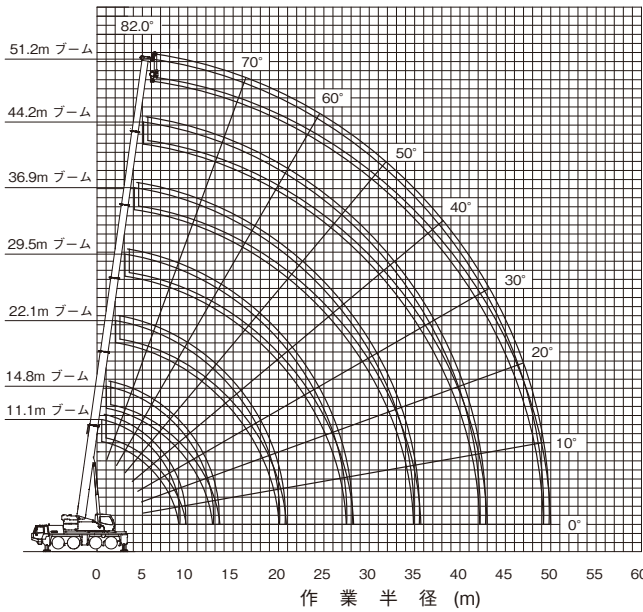
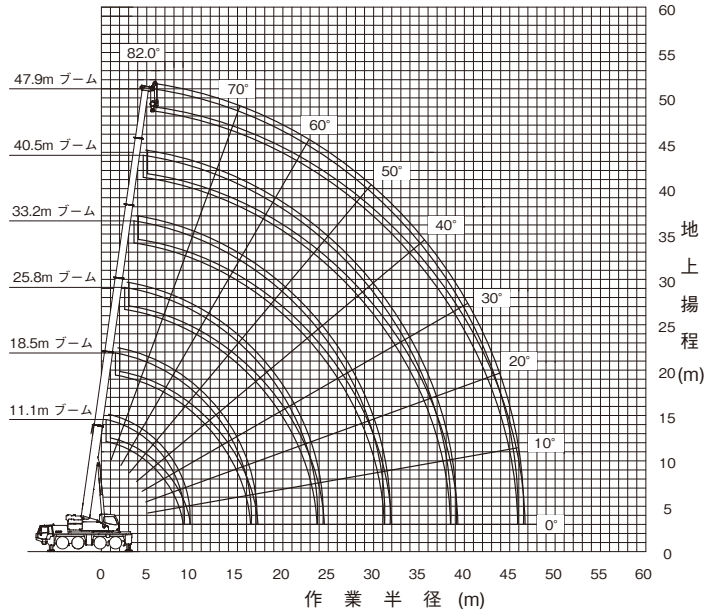


ブーム

■ 作業範囲図



(注) 1. 上図はブームのたわみを含んでいます。
2. A性能を図示しています。



(注) 1. 上図はブームのたわみを含んでいません。
2. A性能を図示しています。

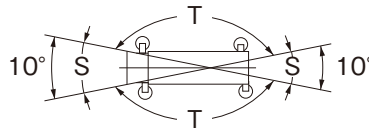
■ 定格総荷重表(注意事項)

◆ 定格総荷重表の性能区分A~Tは、下表のとおりです。

アウトリガ張出幅	カウンタウエイト	25 t	21 t	15 t	9 t	5 t	0 t
7.2 m		A	B	C	D	E	F
6.0 m		G	H	I	J	K	L
5.0 m		M	N	O	P	Q	R
2.55 m							S, T

※ 同じ性能区分・ブーム長さでも、ブームの伸長状態によって定格総荷重が異なります。

※ S, T性能は22.1mブームまでで、作業領域は図のようになります。



◆ 定格総荷重は、つり具質量とフック質量 (5.6tフック:650kg, 18tフック:300kg, 5.6tフック:150kg) を含んだ値を示します。

◆ 定格総荷重は、ブームのたわみを含んだ実際の作業半径に基づいています。

◆ 定格総荷重表中の標準巻掛本数より少ない本数で使用する場合、最大荷重の上限は下表のとおりです。

巻掛本数	11本	10本	9本	8本	7本	6本	5本	4本	3本	2本	1本
最大荷重	54.6t	50.2t	45.6t	40.9t	36.1t	31.3t	26.3t	21.3t	16.1t	11.0t	5.6t

◆ シングルトップ使用時の巻掛本数は1本(5.6tフック使用)で、定格総荷重はブームの定格総荷重からブームに取り付けられているフックの質量を差し引いた値とし、かつ上限は5.6tです。

◆ 定格総荷重はアウトリガを水平堅土上に設置したときの値です。

◆ 定格総荷重表は、風による影響を含んでいません。瞬間最大風速が10m/s以上の風速では、クレーン作業を中止してください。

定格総荷重表中の線、および用語説明

◆ 太線より上側はクレーンの強度に、下側はクレーンの安定に基づいています。

◆ 「ピン無最大荷重」は、Bピン(ブーム固定ピン)を挿入していないときの定格総荷重の上限を示します。

◆ 「 θ (°)」は、無負荷状態で作動可能なブーム起伏角度範囲を示します。

◆ 「主巻時・標準巻掛本数」は、主巻使用時の標準巻掛本数を示します。

◆ 「補巻時・標準巻掛本数」は、補巻使用時の標準巻掛本数を示し、主巻よりもワイヤロープ長さが短いため、巻掛本数が少なくなる場合があります。

◆ 「補巻時・最大荷重」は補巻使用時の定格総荷重の上限を示します。